

茨曾根 太々神楽舞 450年祭

令和6年

9/29

(日)

14:00-16:30

会場 茨曾根諏訪神社境内 特設ステージ

[雨天時] 茨曾根小学校体育館または白南中学校体育館

屋台など出展あり

また、会場の皆様に豪華景品が当たる餅まき(お菓子)を行います

お問い合わせなど連絡先

茨曾根太々神楽舞保存会 新潟市南区茨曾根 1538-4 TEL 090-2730-1002



茨曾根太々神楽舞 450 年祭の企画書

日時 令和 6 年 9 月 29 日（日）午後 2 時～2 時間半程度

会場 茨曾根諏訪神社境内
※舞台を作ります

内容 10 の舞（組舞・2 人舞・1 人舞各 3 舞・稲田姫）

予算 15 万位（設営・音響・大道具小道具借・人件費等）

駐車場 農協（旧撰果場駐車場）

神楽舞は、日本の伝統芸能の一つで、神々を祀る神社で行われる舞踊です。450 年という節目の年に、神楽舞を行うことで、地域の人々が神々への感謝の気持ちを表現し、祭りを盛り上げることができます。

秋の祭りの日程を変更し、日曜日に神楽舞を行うことで、両自治会のご年配の皆様から保育園のお子様まで、祭りを楽しめるようになります。また、日曜日に行うことで、平日に仕事や学校がある人々も参加しやすくなります。このように、日程変更によって、より多くの人々が祭りを楽しめるようになります。

皆様のご寄付は、神楽舞の継承と発展に貢献し、次世代に伝えることができます。

茨曾根太々神楽舞の紹介

出雲大社から京都をへて、四百数十年前(安土桃山時代)に、越後の守護代・長尾家の家臣が茨曾根周辺に住みついた際にこの地へ伝えられ、大庄屋・関根家と庄屋・吉田家の後援で、格式と隆盛をきわめ、諏訪神社に継承され

先人の氏子・舞子の皆様により、大切に伝承されてきました。

平成26年に、新潟市民文化遺産に認定されました。

会員数 9名

講演実績 昨年10月、味方笹川邸にて「笹川邸 IN 神楽」に出演
3つの舞を披露(榊の舞・天川の舞・地久楽の舞)

昨年11月、白根学習館にて「ザ・組み舞」を披露
※時間制限があり、特別に3つの舞を編集したもの

新型コロナウイルス以前は、南区・西蒲区の神社の新築・修繕のこけら落としとして公演依頼がありました。

その他、祭り等の公演依頼もありました。

10年ほど前には、毎年(秋のお祭りに舞を踊っていました)

舞の種類 20の舞があると聞いています。
残念ながら、現在12~13の舞しか、踊れません。

「組舞」

- 【榊舞】 罪穢れを祓う舞
- 【花献舞】 季節の花を神に捧げる舞
- 【群雲舞】 天下の安泰を祈る舞

「一人舞」

- 【宮清の舞】 皆様の諸々の罪穢れを祓い清める舞
- 【地久楽舞】 氏子信者一同の平穏安全を祈る舞
- 【悪魔祓舞】 世の安泰と氏子の安全を祈るもの
- 【天川舞】 神の喜びの姿を表す舞

「二人舞」

- 【月弓命舞】 豊かな生活ができよう祈念する舞
- 【福神遊舞】 恵比寿・大黒の親子の神の舞
- 【五穀散舞】 豊作を祈念する舞

「複数の舞」

- 【稲田姫舞】 素戔鳴尊(スサノオノミコト)が出雲国で大蛇を退治された時のことを表す舞

